

平成 19 年（2007 年） 6 月那覇市議会定例会

代表質問発言通告書（１日目）

平成 19 年 6 月 11 日（月）

割当時間(答弁を除く) { 自民・無所属連合 80 分
公 明 党 35 分

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	金 城 徹 (自民・無所属 連合)	国保行政につ いて	平成18年度決算と国保税の値上げについて
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

代表質問（１日目） 平成 19 年 6 月 11 日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	大 城 春 吉 (自民・無所属 連合)	1 復帰 35 周年 について 2 高齢者福祉 施設及び高齢 者割引制度に ついて	本年は沖縄が祖国に復帰してから35年目の節目を迎える年である。また3次にわたる沖縄振興開発計画及び平成14年度から23年度までの10年間の沖振計の後期がスタートする年でもある これまで国から8兆円超の積極的な支援と県民挙げての努力により道路、港湾、空港などの社会資本整備をはじめ、県民生活の全般にわたって目覚ましい発展を遂げてきた しかしながら5年後に期限切れを迎える現行の沖縄振興特別措置法の延長については、復帰40年以降も継続できるのか疑問視する見方もある中で、高率補助制度の期限内活用など那覇市の抱える課題が山積しているものと思う したがってそういう観点から次の3点について当局に伺う (1) 復帰35周年をどのように評価しているか (2) 沖縄振興計画の前期における成果実績について (3) 沖縄振興計画の後期における本市の取り組みと課題について 高齢化が進む中で、高齢化対策は最優先課題である。高齢者が家に閉じこもることなく、積極的に本市の施設を活用して、生涯にわたり心身ともに健康で長寿を願うものである そこで、次の点について当局に伺う (1) 4 老人福祉センター（壺川、小禄、識名、末吉）と、3 老人憩の家（辻、金城、安謝）の過去3年間（平成16年～18年）における利用者の実数はどうなっているのか

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 随意契約の適正な執行について	(2) 本市は上記の高齢者福祉施設を運営するにあたって年間幾らの予算を支出しているのか (3) 福祉バスは各老人福祉センターや憩の家を利用しやすいように無料で送迎しているとのことだが、利用状況と係る経費は年間幾らか (4) 65歳以上の高齢者に対する割引制度を今年4月より導入する方針を打ち出したが、対象施設での実施状況と今後の見通しはどうなっているか 各部局の平成17年度と平成18年度（12月現在）の随意（50万円以上）で契約した件数とその合計金額を調べてみると、平成17年度が104億5,920万4,325円、平成18年度（12月現在）が55億6,936万569円となっている 本来、契約については競争入札が原則であり、公平性、透明性及び経済性等、総合的な観点から判断、分析をして契約をしなければならないと思うものである しかしながら各部局においては、地方自治法施行令第167条の2第1項～第9項、及び那覇市契約規則第21条第1項～第4項を適用して契約が行われている。そこで次の点について、当局に伺う 平成17年、18年度において、契約による金額が最も高く上位を占めている市立病院18億6,777万7,813円、環境部10億6,093万5,724円、上下水道局4億8,442万8,413円、教育委員会4億571万3,144円が、4部局の平成18年度における契約金額である。主な契約内容と決裁に至るまでの経緯を説明されたい

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 協働のまちづくり事業 (家庭用廃食用油回収事業)について	ごみ分別収集が実施されてから確実に市民の分別意識も高まり、行政と市民が一体となって循環型社会を構築するためにも、また環境負荷の軽減を図り、そして資源物として可能なものは積極的に推進して有効活用することは大変重要である。そこで次の点について当局に伺う (1) 家庭用廃食用油を回収するにあたっては どのような組織体制で行うのか。また係る予算と収益金はどうなっているか (2) 今後の取り組みと予想される廃食用油の回収量はどのくらい見ているのか (3) 協働のまちづくりの観点から、どのような効果が考えられるか
		5 財産の適正管理について	本市の姉妹都市である宮崎県日南市との共同事業として「友好市民の森」を建設し、両市の親善交流等に活用することを目的に、国の分収造林制度を活用して、熊本営林局との間で平成8年に分収造林制定(国有地上に)契約を締結しているが、具体的な内容はどうなっているか、次の点について当局に伺う (1) 「友好市民の森」の実測面積、契約年数、契約金額等はどうなっているか (2) 植栽樹種及び本数はどうなっているか (3) 現状における維持管理体制はどうなっているか (4) 今後における当局の姿勢、展望、方向性についてはどうなっているか
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

代表質問（１日目） 平成 19 年 6 月 11 日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	高 良 正 幸 (自民・無所属 連合)	1 旧軍那覇飛行場問題について 2 教育行政について	(1) 「旧軍那覇飛行場等の用地問題事業可能性調査報告書」において、那覇市の２つの地主会の要望事業案の内容を伺う (2) それに対して那覇市の提案事業はどのようなものか、また、両地主の要望が、いかに考慮されているか (3) 今後の那覇市の県、国に対しての取り組みを伺う (1) 教科書検定について ① 教科書検定の趣旨 ② 日本の教科書検定制度の歴史 ③ 教科書が使用されるまでの経緯 ④ 教科書検定の方法 ⑤ 今回の「集団自決」に関する検定意見の撤回を求める意見書についての見解を伺う (2) 市民との協働の取り組みについて 退職教員でつくる教育支援(ゆうゆう会学校教育支援ボランティア)について ① 目的、趣旨を伺う ② 活動内容と方法を伺う ③ 他の組織との連携について伺う ④ 今後の問題点、あるいは要望を伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(3) 全国学力・学習状況調査について ① 学力学習状況調査実施状況と反応 ② 調査結果の示し方 ③ 調査結果の公表方法 ④ 今後の活用方法と問題点 (4) 小学校通学区域の変更について ① 通学区域の変更の趣旨 ② 適正規模校の基準 ③ 市内における適正規模以外の学校数 ④ 通学区域変更予定の学校 ⑤ 今後の対策 (5) 教育の日の制定について ① 目的と意義 ② その内容 ③ これからの課題と要望
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

代表質問（１日目） 平成 19 年 6 月 11 日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	宮 里 光 雄 (自民・無所属 連合)	1 那覇市新庁舎建設について 2 「読売巨人軍」キャンプ誘致について 3 泊ふ頭開発「とまりん」の売却について	(1) 新庁舎建設は規模等どのような構想で考えているのか当局の見解を伺う (2) 着工までどのような作業があるのか伺う (3) 現在どの程度作業は進んでいるのか。また、今後のスケジュールはどのようになっているのか説明願う (1) キャンプ誘致に向けての一連の経緯について説明願う (2) 本市の要請に対し「読売巨人軍」からどのような回答がなされているのか伺う (3) 今後キャンプ誘致に向けてどのように取り組んでいくのか、当局の見解を伺う (1) 泊ふ頭開発株式会社の設立目的について伺う (2) とまりんの設置目的、並びに当初の施設内容について説明願う (3) 今回の売却公募に至った経緯について説明願う (4) 公募の内容について当局はどのように捉えているのか見解を伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 土地開発公社健全化事業について	(1) 土地開発公社経営健全化計画の進捗状況について説明願う (2) 新都心庁舎候補地のその後の経緯について説明願う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	山 川 典 二 (自 民 ・ 無 所 属 連 合)	1 行財政改革について 2 那覇市立病院の地方独立行政法人化について 3 「行政対象暴力」問題について	那覇市は5月30日に、2008年度から2011年度までの財政見通しの試算を発表した。2007年度予算を基準に4年間で約223億円、単年度平均で約56億円の財源不足が生じるとしている。何故そうなるのか、内容と今後の取り組みについて伺う (1) 地方独立行政法人の制度とそのメリット・デメリットは何か (2) なぜ今、那覇市立病院を地方独立行政法人に移行するのか。その理由と内容について聞く (3) 那覇市立病院の地方独立行政法人化への手続き、日程はどうなっているのか。具体的に何をするのか。また、現在の職員の身分の保障はどうなるのか。職員の理解は得られているのか等、説明を求める (4) 那覇市立病院の将来像を伺う 本市における「行政対象暴力」について、現状と今後の取り組みはどうなっているのか。特に市長の見解を聞く

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 環境行政について	7月1日オープン予定の「環境の杜ふれあい」について施設内容、料金、管理運営方法(管理運営主体)について問う
		5 雇用問題について	県統計課の発表によると4月の県内完全失業率は8.0%で、前年同月比で0.3ポイント、前月比で0.5ポイント悪化し、9ヶ月ぶりに完全失業率が8%台となった。総務省発表の全国の失業率は9年ぶりに4%を割り3.8%となり良好な水準となっている。格差が縮小されない中、本市における労働状況と雇用対策について過去5年間の実績での説明を求める
		6 教育行政について	老朽校舎等の整備状況について、実態と取り組みを聞く
		7 建築行政について	老朽市営住宅の建て替え事業について、現状を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、病院事業管理者、関係部長

代表質問（１日目） 平成 19 年 6 月 11 日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	糸 数 昌 洋 (公 明 党)	1 行財政改革 について	去る 5 月 30 日に市長定例記者会見において、本年度の行財政改革運動が報告された。全国的に地方自治体の財政運営が厳しさを増す中で、本市においてもこの数年間が正念場になると思われる。本市の行財政改革について伺う (1) 今回の中期財政見通しの試算は、昨年取りまとめた中期財政計画とどのように違うのか。1 年足らずでなぜ見直しとなったのか (2) これまでの行財政改革の評価と課題について見解を伺う (3) 改革の 4 つの柱の中で以下の中身を問う ① 「事務事業の総点検・見直し」をどのように行うのか ② 「全職員 1 提案」の趣旨と効果（先行事例）について伺う ③ 「予算制度の再構築」とは何か。従来の手法とどう変わるのか (4) 市民に対する周知と理解、協力をどのように得ていくのか (5) この機会に事業評価のあり方について、「事業仕分け」「協働化テスト」の導入などで、情報公開・市民参加を広く促し、抜本的な改革をすべきではないか

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		2 国保行政について	(1) 18年度決算の見込み違いについて ① 19年度以降の財政シミュレーションはどうか ② 税率改定しなかった場合のシミュレーションはどうか ③ 市民の理解をどのように得ていくのか ④ 国の過去の交付漏れにどのように対処するのか ⑤ 組織体制的な課題はないのか。どのように対処するのか (2) 市民の健康増進事業を拡充する考えはないか
		3 子育て支援策について	(1) 那覇市幼児教育振興アクションプログラムの策定について伺う ① 策定の背景と概要について ② 本市の次世代育成支援行動計画との関連について (2) ファミリー・サポート・センター事業について伺う ① 現状と課題 ② 利用者の反響 ③ 今後の拡充策について
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

代表質問（１日目） 平成 19 年 6 月 11 日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	大 浜 安 史 (公 明 党)	1 教育行政について 2 御茶屋御殿の早期復興について 3 「環境の杜ふれあい」について	沖縄戦の「集団自決」に日本軍の強制命令があったとする記述が、教科書検定において修正・削除された問題で、本議会でも臨時会を開き検定意見を撤回するよう求める意見書を可決した。仲井眞弘多知事も「軍命」削除に疑義を唱えている。市長の見解を伺う 平成18年12月定例会において「御茶屋御殿の早期復元、整備を求める意見書」を可決した。去る5月23日に議長が御茶屋御殿復元期成会役員を同行させ国へ要請をした。市長も県知事と共に国へ要請すべきと考えるが見解を伺う 南風原町内に地域への還元施設「環境の杜ふれあい」が完成し、来る7月から運用が開始される (1) 指定管理者が施設管理を行うが、公募の概要について伺う (2) ランニングコストは、当初の予定と指定管理することによって、どの程度節減されるのか (3) 施設の概要について（利用料金など） (4) 近隣の民間に岩盤浴場があるが、民間事業者への影響に対してどのように考えているのか

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 資源化物抜き取り防止策について	(1) 資源化物抜き取りについて市民から苦情があったようだが、その内容はどうなったのか (2) 本市は条例改正で規制する予定と聞いているが資源化物抜き取りの実態はどうなっているのか (3) 生活困窮者の抜き取りについてどのように考えているのか。条例でどう位置づけていくのか
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長